

建通新聞

中部

発行所 建通新聞社

工法PRに力を

エコジオ工法協

エコジオ工法協会(尾鍋哲也会長)は10日、名古屋市内で第5回通常総会を開いた。工法のPR事業や研修会の実施などを盛り込んだ2016年度の事業計画など、全ての議案を原案通り承認した。

あいさつに立った尾鍋会



長〓写真〓は、エコジオ工法の施工数について、「15年度は前年度比70%増となった」と報告。また、同工法を採用した企業の経営者

から聞いた話として、「現場や営業の人の対応がよかったと評価された」ことを紹介し、「技術はもちろんのこと、対応も重要だ」と話した。また、「16年度は工法のPRに力を入れていきたい」と抱負を述べた。

16年度の事業計画には、PRに関する事業や、展示会への出展、研修会の実施などを盛り込んだ。

総会の後に引き続き事業報告会を行った。全国の施工概要や件数、無排土率、適用案件などを紹介したほか、エコジオを用いた新しい市場について報告した。また、三重大大学の酒井俊典教授が中日本高速道路との共同研究について、「盛土の排水対策」と題して発表した。